

臓器提供を希望する方の意思を拾い上げ、臓器提供がスムーズに行われるためには、移植コーディネーターと医療機関内で調整を行う「院内コーディネーター」の役割が重要です。今回は、当財団が3月に開催した院内コーディネーター研修会に参加した方の感想をご紹介します。

新潟県院内コーディネーター研修会 開催概要

日時 平成27年3月19日  
 場所 新潟大学医学総合病院  
 内容 第1部 「臓器提供の現況について」 参加人数 55名  
 「終末期にある患者家族への介入と援助」  
 第2部 小児脳死下臓器提供シミュレーション 参加人数 75名



新潟県院内コーディネーター研修会に参加して



新潟県立中央病院  
小児科  
診療部長 須田昌司

平成27年3月19日に新潟大学医学総合病院で開催された「小児脳死下臓器提供シミュレーション」に参加した。

当院では脳死とされる状態になる小児患者さんは5年に1例ほどで少ないため、当該事例の発症の都度マニュアルを確認しながら対応している。特に小児例では虐待の有無を検討するための虐待防止委員会や倫理委員会の開催が必要で、これを受けて脳死判定委員会、臓器提供検討委員会が開催される。この流れのいずれかに齟齬があれば、家族に提供の意思があったにもかかわらず、提供の機会を奪ってしまうことになりかねない。分かりやすいシミュレーションでの流れを再確認し反芻することで、当該事例の発症時には、懸命に治療に専念している主治医とともに院内コーディネーターとしてスムーズに対応できるよう努力したい。

新潟県院内コーディネーター研修会に参加して



新潟県立新発田病院  
看護師 富樫詩子

研修会では、劇場型の臓器提供シミュレーションを見学させていただきました。症例発生時の流れや注意すべきポイントを詳しく解説し説明をしてくださいました。机上で行うものと違い、視覚聴覚で入ってくるため実際のイメージができ、とても分かり易かったです。また、座学では、救急・集中治療における終末期医療、終末期患者家族の心のケア、グリーフケアの基本姿勢を教わりました。悲嘆家族の心のケアは、私達の重要な役割であることは、理解していました。しかし、どのような態度で声をかけて良いものなのか私自身が不安で、十分なケアができませんでした。遺族のそばに寄り添い傾聴すること、相手のあらゆる感情を受容すること。悲嘆反応に対するケアは、こうあるべきという正しいものはないということを学びました。これからは、研修で学んだ患者家族の悲嘆に対する対応について知見を深め、家族対応の質の向上を目指したいです。

1面のクイズと質問の答え

<移植医療に関するクイズ>

- 移植できる臓器には、何があるでしょうか？  
心臓、肺臓、肝臓、脾臓、腎臓、小腸、眼球
- 100万人あたりの臓器の提供数、新潟県は全国で何番目？  
第1位

<世界の高橋に聞く>

- 血液型が違って臓器移植ができるって本当ですか？  
本当です。例えば輸血で言うと「O型」は全ての血液型に輸血できますが、全ての血液型の方からはもらえない。」は聞いたことがあると思います。腎臓・肝臓など臓器も同じ事が言えます。今まで無理とされていた血液型が一致していない場合でも移植ができるようになっていきます。
- 移植手術はやっぱり高額な費用がかかるんですか？  
健康保険が適応になりますので、渡航移植の様な高額な費用は掛かりません。その他、身体障害者として認定されている場合は、その制度に基づく助成も受けられます。

- 臓器提供は本人が望めば行われるんですか？(家族の意思は?)  
本人が望んでも、ご家族が拒否された場合は臓器提供はできません。その意味でご自身の気持ちをご家族と普段から話しておくことが大事です。
- 臓器移植後の定着率はどれくらいですか？  
全国の腎移植を受けた患者さんは1542名の方がいます。その方々の5年間の生存率は96.6%です。また生着率は90.5%です。したがって他の外科手術とそんな色がないと言っても過言ではありません。
- 日本の移植医療の技術レベルについて  
世界1のレベルです。
- 日本で移植医療が進まない原因について  
国民の「臓器提供したい」の意思は41.3%と臓器提供の多い国とほぼ同等です。しかし本人の意思表示率の低さと、危篤になった際の医療機関の意思確認の低さがその大きな要因と考えられています。



解説



新潟県臓器移植  
コーディネーター  
秋山政人

臓器提供および移植の状況

(1) 献腎提供者・献腎移植者・献腎移植待機者の状況

		平成27年3月末現在(人)					
年度	H22まで	H23	H24	H25	H26	累計	
献腎提供者	全国 1,452	115	97	80	78	1,822	
	新潟県 32	6	4	5	1	48	
献腎移植者	全国 2,683	217	177	153	144	3,374	
	新潟県 71	7	5	5	2	90	
献腎移植待機者	全国	12,542	12,767	12,875	12,849		
	新潟県	264	258	258	256		

(2) 献眼登録者・献眼者・移植者・待機者の状況

		平成27年3月末現在(人)					
年度	H22まで	H23	H24	H25	H26	累計	
献眼登録者	全国 1,456,598	12,636	11,778	10,883	11,510	1,503,405	
	新潟県 26,610	343	215	236	329	27,733	
献眼者	全国 35,601	1,009	891	927	880	39,308	
	新潟県 451	14	9	8	13	495	
移植者	全国 54,705	1,591	1,476	1,476	1,417	60,665	
	新潟県 666	18	14	12	32	742	
献眼待機者	全国	2,365	2,282	2,207	1,836		
	新潟県	83	104	100	42		

(3) 臓器移植コーディネーターの活動状況(平成26年度)

提供者数	月	提供の意思		提供状況				移植状況						
		意思表示カード	献眼登録	腎臓 県内 県外	眼球	多臓器 (肝臓)	腎臓 県内 県外	眼球 保存 待機	多臓器(肝臓) 県内 県外					
1	4月	無	有			2			2					
	4月					保存眼			1					
2	5月	無	無			2			2					
3	6月	無	有			2			2					
4	6月	無	無			2			2					
5	7月	無	無			2	1		2			1		
	7月					1		1						
6	7月	有	無			2			2					
7	8月	無	無			2			2					
	9月					保存眼			2					
8	9月	無	無	2				1	1					
	10月					保存眼			3					
9	10月	無	無			2			2					
10	10月	無	有			2			2					
11	11月	無	有			2			2					
12	11月	無	有			2			2					
	1月					保存眼			2					
13	1月	無	有			2			2					
	2月					保存眼			2					
14	3月	無	無			2			2					
合計				2	1	26	1	2	1	32	2	2	0	1

(4) 人工透析患者の状況

腎不全のため人工透析を行っている患者さんは年々増加傾向にあります。(下図)  
腎不全の唯一の根本治療法は腎移植であり、多くの患者さんがこれを待ち望んでいます。



財団の活動・運営にご協力ください

【賛助会員加入のお願い】

財団の活動は基本財産の運用益と善意の賛助会費、および寄付金で行っています。賛助会のご加入、ご継続をよろしくお願いいたします。

★賛助会員(年会費)

法人1口 10,000円

個人1口 1,000円

(ご入金金は郵便振替、または銀行振込でお願いします)

郵便振替の場合 口座番号 00500-4-76919  
公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団

銀行振込の場合 北越銀行 県庁支店  
普通口座 237932  
公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団

当法人に賛助金や寄付金を納められた方は税額控除されます。領収書が必要な方はご連絡ください。

～皆様のご協力をお願いいたします～

公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 役員名簿

平成27年6月16日現在

- 理事長 高橋 公太 (新潟大学医学部名誉教授/医療法人社団 ときわ会大塚台クリニック 院長)
- 副理事長 成田 一衛 (新潟大学大学院医学総合研究所 内部環境医学講座 教授)
- 常務理事 若井 俊文 (新潟大学大学院医学総合研究所 消化器・一般外科学分野 教授)
- 福地 健郎 (新潟大学大学院医学総合研究所 視覚病態学分野 教授)
- 理事 窪田 正幸 (新潟大学大学院医学総合研究所 小児外科学教室 教授)
- 関前 洋一郎 (新潟県医師会 理事)
- 関 伶子 (新潟県眼科会 会長)
- 甲田 豊 (新潟県透析医会 会長)
- 山口 征吾 (魚沼基幹病院 地域救命救急センター長)
- 江口 孝雄 (日本赤十字社新潟県支部 事務局長)
- 渡邊 信也 (新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 理事長)
- 馬場 享 (新潟県腎臓病患者友の会 会長)

公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 評議員名簿

平成27年6月16日現在

- 評議員 高橋 俊 (新潟大学 学長)
- 鈴木 栄一 (新潟県病院協会 会長)
- 齋藤 和夫 (新潟大学医学総合研究所 移植医療支援センター 副部長/泌尿器科 病院准教授)
- 松田 英伸 (新潟大学 眼科 講師)
- 柳原 俊雄 (新潟県医師会 理事)
- 川嶋 禎之 (長岡赤十字病院 院長)
- 佐藤 たづ子 (公益財団法人 新潟県看護協会 会長)
- 相田 哲 (新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 副理事長)
- 末武 雅之 (新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長)
- 阪部 誠司 (新潟日報社 編集局論説編集委員 室長)
- 田中 利夫 (日本文理高等学校 副校長)
- 中山 均 (新潟県保健所長会【新潟県保健所長】)
- 清野 豊一 (新潟県市長会 事務局次長)
- 田中正昭 (新潟県町村会 事務局次長)
- 石田 芳英 (株式会社 石置工業 代表取締役/新潟移植者の会)
- 顧問 岩田 和雄 (新潟大学 名誉教授)
- 大石 正夫 (白根健生病院 眼科部長)
- 荒川 正昭 (新潟県福祉保健部 参与)

FM-NIIGATA

ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植

シーズン8

今年も10月の臓器移植推進月間に合わせて、FM-NIIGATA (77.5MHz) で臓器移植について考える特別番組「ヤン&アッキーの ど〜なの? 臓器移植」を放送いたしました。シーズン8を迎えた今回も臓器移植・提供について「楽しく・わかりやすく」をモットーに全5回の放送をお送りしました。

出演 ヤン/西條詩菜/秋山政人 (新潟県臓器移植コーディネーター)



今回は若者の意識にも迫りました。

放送された番組の内容は、財団ホームページから聴くことができます。  
[HP] <http://www.niigata-ot.net/>